

令和5年度AMEDロボット介護機器開発等推進事業

「現場課題解決型・共創型の機器開発の好事例創出と普及」についての成果報告会(2024年3月14日)

**長岡介護イノベーションハブの  
移乗用リフト導入に向けた実証試験に  
参加して**

**社会福祉法人信濃川令終会 岡南の郷**

# 社会福祉法人信濃川令終会 岡南の郷の紹介

## 特別養護老人ホーム岡南の郷

平成13年4月開設

所在地：新潟県長岡市渡沢町

定員	82名
部屋	個室(46室) 4人部屋(9室)
職員体制	施設長 1名 管理者 1名 (兼務) 生活相談員 3名 (うち1名兼務) 介護支援専門員 2名 医師 2名 (嘱託) <b>介護職員 47名</b> (うち1名兼務) <b>看護職員 7名</b> 機能訓練指導員 2名 管理栄養士 2名 (うち1名兼務) 事務員 4名 <b>夜勤体制 4名</b>



今日は音楽祭☆多秋の歌をみんなで  
唄っています(\*ω\*)

## 関連施設

ケアハウス岡南

ショートステイ岡南

デイサービスセンター岡南

グループホームこうなん

居宅介護支援事業所岡南

# 浴室での移乗用リフトの導入に向けた実証試験 に参加した背景・目的

## 介護業務とリフト導入に関する課題

- I 主に移乗作業等に起因すると思われる腰痛等身体的負担を訴える職員もおり、職員にとっては、そのために休むと他の職員へ迷惑がかかるとの精神的負担にもつながっている。
- II これまでリフトを導入したことがなく、現状を変更することには抵抗のある職員もいる。

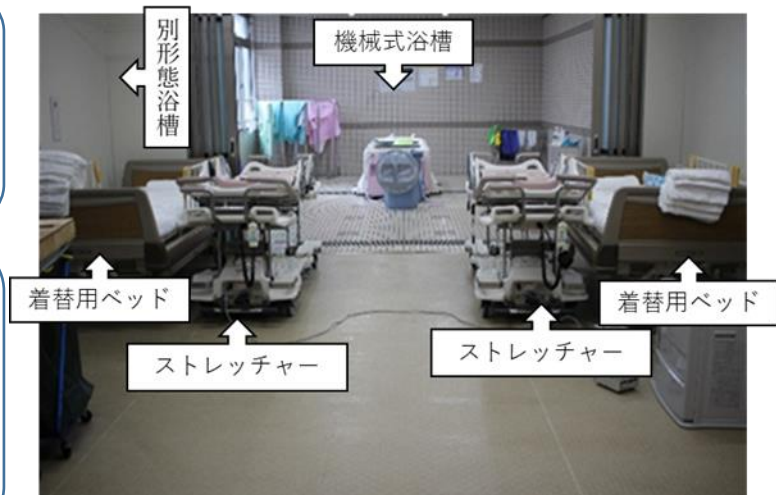
## リフト移乗場面の選択

- III 居室ではベッド⇔車いすの移乗であるのに対し、浴室では車いす⇔ストレッチャー⇔着替え用ベッド⇔車いすといくつかの異なった形態の移乗が行われている。
- IV リフトによる移乗で、身体的負担が軽減できることは理解していたが、これまでリフトを導入したことがなく、いくつかの場面でリフト移乗を経験し、どの移乗にリフトを導入するのが効果的か知りたかった。今回はその一つとして浴室での移乗に取り組んだ。

実施期間：リフト移乗操作に慣れる期間を除くと実質約2週間

## 移乗用リフトの導入に向けた実証試験の実施状況と課題

- I 移乗時間の短縮が目的ではなく、身体的負担を減らすことが目的であると、職員には伝え、移乗時間が長くなることへの負担を感じさせない配慮を行って、始めた。
- II 据置式リフトを着衣用ベッドの位置に設置し、車いす（脱衣）⇒ストレッチャー（入浴）⇒着衣用ベッド⇒車いすの移乗を行った。なお、リフト導入前は、効率的に入浴を行うために、着衣用ベッドを並列に2台並べ交互に入浴できるようにしていた。
- III 据置型リフトの設置によるスペース不足により、これまでのような2つのベッドを用い交互に入浴する手順がとれず、ストレッチャーの入れ替えに待ち時間ができたこともあり、入浴時間が、従来よりも大幅に増えた。（これまでの9時から11時に対し、9時から11時半となり、食事の時間に食い込む場合もあった。）
- IV なお、リフトによる移乗には慣れ、これまで2人で行っていた移乗を1人でできるようになってきた。また、身体的負担も軽減されたことを職員たちは実感していた。



浴室の概観



設置した門型リフト 4

## 移乗用リフトの導入に向けた実証試験の感想と今後

今回の実証試験においては、職員のリフト使用に対する抵抗感はかなり低減でき、一人で移乗できる職員もでてきたが、リフト導入のためには、**かかり過ぎる時間**をどのようにして短縮できるかが課題であることが分かった。

そのために次のステップとして、以下の実証試験が考えられる。

- (1) 今回のベッド1台を対象にした据置式リフトではなく、これまでのように2台のベッドを使い交互に入浴できるように、例えば、脚柱のない**天井走行式リフト**を用いた実証試験
- (2) 一台の据置式リフトでも、**効率的に入浴が可能となる手順**を考えた実証試験

いずれにせよ、今回の実証試験の経験に基づき、**入浴業務のシュミレーション**を行い、リフト導入に向けた取り組みを行っていきたい。